

ひろば

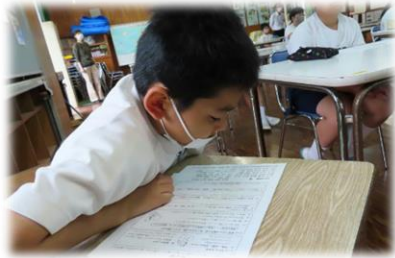


子供たちが育てた「マリーゴールド」

令和4年6月30日 発行

指折り数えて 五・七・五

校長 山 美奈子



先日、全校児童を集めて「俳句教室」を実施しました。「俳句」にはじめて触れる子どもたちばかりだと思っていたら、テレビ番組の影響もあり、ほとんどの子どもたちが「俳句」について知っているということに少々驚きました。

俳句は「五・七・五の十七音」で気持ちや情景を表現します。俳句作りで自分の思いや気持ちにぴったり合う言葉を探したり選んだりすることで、日本語の美しさに気付くことがあるかもしれません。また、新しい言葉や表現に出会うこともあるかもしれません。こうして自然に言語感覚が身に付いていくのです。さらに、「季語」で季節を表します。まわりをよく観察して、「季節のもの」を探すことによって、日常生活においても新たな発見をすることがあります。普段の生活に自然と季節を感じたり、新たな発見に心を躍らせたりすることで日常生活に変化が生まれます。短いフレーズに自分の思いを込めるのは難しいことです。だからこそ、面白さも言葉の力も育ちます。それだけではなく、子どもの感性を生かし伸ばしていくことにも深い関わりがあると思います。

俳句作りを始めると子どもたちは窓の外を眺めたり、指を折りながら言葉を選んだりします。日常生活を詠んだものがほとんどですが、アカショウビンの鳴き声の表し方一つをとっても、みんなそれぞれ違う表現になるのも興味深いです。体言止めで余韻を残したり、話し言葉を使ったり、擬人法やオノマトペ（擬音語・擬態語）が効果的に使われている句も見られ、大人顔負けの秀作もあります。面白いのはそれぞれの句の背景がよくわかることです。子どもたちの視点で日常が切り取られ、十七音の言葉で上手に表現されています。なんとも新鮮で素直な俳句ばかりで、俳句作りをとおして語彙力や表現力そして感性が育っていることを実感します。

最近、SNSなどでひどい言葉で相手を傷付けたり、間違った言葉の使い方でもトラブルになったりする問題が後をたちません。「言葉」は時に、人を傷つける武器にもなり得ます。国際化が進む時代だからこそ、日本語の美しい響きや、五・七・五のリズムを感じ、言葉を大切にできる子どもたちに育ってほしいと願います。

がえる ま いっせ
やせ蛙 負けるな一茶 これにあり

小林 一茶

「校長先生大変です。アユがけがをしています。子どもたちが水槽の前で騒いでいる。見ると、一匹のアユの脇腹が赤くなっている。どうやらそれに気づいた子どもたちが、けがをしたアユを気遣っているのだ。」

本校はリュウキュウアユを飼育していて、子どもたちは毎日観察している。きらきらと輝く体で泳ぐ姿は実に美しく、ずっと眺めていたいほどである。そのリュウキュウアユの寿命は一年ほどだという。必然的にアユの寿命が尽きる場面を子どもたちは目にすることもある。苦しうに口をパクパクさせ、弱っていくアユを休み時間のたびに見守り、最期まで「がんばればがんばれ」と応援するのだ。

文頭の句では「やせカエルよ、負けるな！一茶が応援しているぞ。」と、弱そうなカエルを応援している一茶の姿がうかがえる。不遇続きだった自分自身の姿と重ねていたともいわれるが、生き物や小さな昆虫などを詠んだ親しみやすい句が多く残されている。小さな命にさえカエルを送る一茶。生き物に対する優しさが句からも溢れ、一茶の情深さを感じる事ができる。

玄関の水槽の中では、今日も五匹のアユたちが優雅に泳いでいる。毎日アユを見ている子どもたちは、自然とこのアユたちを愛おしみ、愛情をもって大事に大事に育てている。脇腹に傷を負ったアユも、片目のないアユもまだまだ元気だ。だが、しばらくすると、きつこのアユたちにも命尽きる日がおとすれる。「かわいそう」と涙する子どもいるだろう。「お墓を作ります」という子もいるだろう。この小さなアユたちが、子どもたちにかげがえのない命の尊さを教えてくれているのだ。

子供の未来に向けた学力の向上（算数科複式教育）

～鹿児島県総合教育センターとの連携 「学ぶ楽しさ」を目指して～



【グループで考えを出す姿】



【全体で考えを練り上げる姿（タブレット活用）】



【教育センターの先生の講座】

異学年を一斉に指導する複式学級は、同時に違う学年を指導するため、指導の難しさがあります。しかし、異学年で学び合うことや自分たちで学習を進めていく機会が増えるため自立学習を身に付けられることが期待できます。そこで、本校は、本年度、鹿児島県総合教育センターからの委託を受けて、複式学級における学力向上の推進を図っています。そして、本校の職員全員で複式学級の指導について研修を行い、子供たちの学力の向上を目指しています。今回、掲載している内容は6月24日（金）に実施した授業の様子です。4月に本校に赴任してきて、初めて複式学級の担任をする湯之谷教諭が授業を行いました。担任の先生は子供たちのために数ヶ月前から準備を始め、「どんな活動をしたら子供たちが楽しく勉強ができるか。」「どうしたら算数が好きになってくれるか。」等、教科等が本来もっている学ぶ楽しさを味わってもらえるように取り組んできました。当日は、教育センターの先生と大島地区内から15人の先生方に来校いただき、子供たちの熱心な授業の様子を見てもらいました。

SDGs（持続可能な開発目標）を目指した学力の向上（総合的な学習の時間）

～リュウキュウアユ保護活動【知る・守る・伝える】の充実～

全員ラジオ
出演決定
今年も FM77.7

2015年に国連でSDGsのことが話題となり、現在では社会や学校にもこの取組を進める動きが出てきています。この取組は世界全体で起きている貧困や飢餓、ジェンダー平等、環境、安全等に関する問題を国の垣根を越えて、みんなで解決していこうという取組です。これに関連して本校は絶滅危惧種であるリュウキュウアユの保護活動を長年取り組んできており、地球環境の改善について考える学習を行っています。そして活動の一環として7月に保護観察を行い、その様子を児童全員がラジオ（あまみFM）に出演し発表します。出演予定は7/13（水）～19（火）と9/5（月）～9（金）の平日12:30頃です。（放送局の都合により時間帯がずれることもあります。）ぜひ、子供たちの活躍する姿を聞いて頂けたらと思います。

学ぶ意義の実感
学ぶ意欲の向上
学び続ける子供
を目指して



考える力
判断する力
表現する力
の育成

【観察とラジオ出演の様子（昨年度）】

本校のサポートをさせていただきます

本校の教育活動のサポートをしてくださる方々の紹介をします。よろしくお願いいたします。

- ☆ 学校司書【読書活動のサポート】
里村 範子 先生
- ☆ 理科支援員【理科授業のサポート】
本田 裕信 先生
- ☆ スクールカウンセラー【先生や子供たちのサポート】
朝沼 めぐみ 先生
- ☆ 教育相談員【子どもの心のサポート】
山田 千代子 先生

7, 8, 9月の行事予定

- 7月 9日（土）リュウキュウアユ観察学習
※13日以降 ラジオ出演 1日2人ずつ高学年からスタート
20日（水）1学期終業式
- 8月 1日（月）出校日 運動会実行委員会
※19:00 住用中：学校職員、PTA、地域
19日（金）出校日
28日（日）PTA奉仕作業 ※グランド整備
- 9月 1日（木）2学期始業式
11日（日）保・小・中合同運動会
21日（水）PTA

